第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 環境配慮型コンクリート（材料）

環境配慮型コンクリート（材料）4

座長:伊藤正憲(土木),鹿毛忠継(建築)
2024年6月27日(木) 13:15 〜 15:00 第2会場 (小展示室B)

[1242]環境配慮型コンクリートの基礎的性能に関する検討

近藤直斗[1], 道正泰弘[1] (1.名城大学)

キーワード：フライアッシュII種、高炉セメントB種、fly ash type II、CO_2排出量、portland blast-furnace cement type B、CO_2 emissions

本研究は，カーボンニュートラルの実現のため，低炭素性に寄与する高炉セメント B種(BB)およびフライアッシュを大量使用した環境配慮型コンクリートの利用拡大を目的に，フライアッシュ II種(FAII)を細骨材の一部に置換(外割)，セメント置換と外割の併用， BBと FAIIの外割を併用したコンクリートの基礎的性能について検討を行った。その結果， BBや FAIIを大量使用した環境配慮型コンクリートは，中性化については配慮が必要であるが，構造用コンクリートとして適用が可能であり， FAIIはコンクリート用混和材として利用拡大が期待できることが明らかとなった。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会